



受日野産1460号
平成19年4月18日

国土交通省道路局長
宮田年耕様

日野町長 景山



中期的な計画の作成にあたっての意見について（提出）

このことにつき、平成19年4月2日付国道企第114号により、依頼がありましたので下記のとおり意見を述べさせていただきます。

記

1) 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

地方公共団体を取り巻く財政状況は年々厳しさを増す中、大動脈である基幹道路改良、新設は物流や人の動きを活発化させ、地域産業、経済の振興に大きく寄与するものであり、我々中山間地域において生活を営む者にとってもっとも重要であります。現在計画が進行中の地域高規格道路（江府三次道路）は、平成6年12月に計画路線に指定され、平成17年度には日野町～日南町（生山道路）3kmが開通となり地元の願いが着実に実現しつつあることに対し、深く感謝申し上げます。

さらに、広島県境の鍵掛峠（鍵掛峠道路）の改良が平成18年度より直轄権限代行として着手となり、大型車輛の通行が可能になるのも間近であるとの期待は鳥取県西部地区、島根県東部地区、広島県など広い地域で高まっており、従来の幅員が狭さくでカーブの多い、冬期間は凍結によるスリップ事故が頻発する国道であったものが、改良により改善することとなり早期完成が望まれます。

また、広島県庄原市の「高道路」3kmについても順調に進捗しているとお聞きしております。

高規格道路「江府三次道路」の整備促進に対する意見を記述いたします。

- ・ 直轄権限代行による「鍵掛峠道路」の早期完成。
- ・ 県施行の整備区間である鳥取県江府町内（江府道路）の整備を促進されたい。
- ・ 全長90kmの内調査区間約34kmを早期に整備区間に指定していただきたい。
- ・ 鳥取県江府町内～日野町経由～日南町内までなどの未指定区間約33kmを整備区間に指定いただきたい。

2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

道路改良や新設を行うに際し、道路ごとの存在意義を明確にすることが必要ではないか、例えば高速道路のように遠距離を短時間で結ぶ為の道路と地域住民の生活に密着した道路などのように。そうすることにより、必然的に優先順位が付き、無駄が省かれ効率化や経費削減が図られるのではないか。ポイントはいかに地域住民の生活の利便性や、交通形態に則した道路整備がなされるかだと思われまます。都会と田舎では当然生活スタイルやリズム、ニーズなどにも相違があり、それに合った道路整備が必要と考えます。

3) その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

まず、道路特定財源については、受益者負担という制度の趣旨や地域の道路整備状況も勘案いただき、効率的な道路整備の財源確保のために必要な措置を講じていただきたいと思います。また、住民の安全、安心な暮らしの確保や道路交通の円滑化を図り、地域の活性化や経済活動の発展を支えるためには、道路整備を今後も計画的、重点的に進めることが肝要であり、資金の充実を図られたい。

国道のバイパス化に伴う廃止路線の維持管理を地元自治体に委ねる手法について、廃止路線も住民の生活に直結した道路であります。市町村はますます財政が厳しくなる今日の状況を踏まえていただき、主要路線はダブル認定などにより管理主体を国又は県で行って欲しい。

交通安全対策特別交付金について、交通事故の発生件数により交付金が決定になっている実態がありますが、交通事故の発生件数の少ない自治体に対しても、努力が認められる場合には、なお一層の交通事故発生件数抑制のために交付金の増額措置をお願いしたい。

町道の改良については現在交付金の措置がなされているところではありますが、昭和30年代から40年代にかけて建設された道路橋梁の老朽化が最近とみに感じられる状況となり、耐久診断、あるいは改修等が必要ではないかと思っております。そのような事業に対する予算措置についても一考いただければ幸いに存じます。

以上